

## 心血管周術期のプロポフォルとデクスメトミジン併用は死亡率低下に関連 田本氏らの研究グループが医療ビッグデータで解析

京都大学医学部附属病院看護部集中治療部の田本光弘副看護師長らの研究グループは、心血管手術周術期におけるプロポフォルとデクスメトミジンの併用の有効性をメディカル・データ・ビジョン（以下、MDV）の保有する国内最大規模の診療ビッグデータを活用して解析研究をしました。その結果、28日および90日死亡率の低下と関連した一方、術後せん妄の発症リスクの有意な低下は認められませんでした。

この研究論文は、心臓、胸部、血管麻酔分野における国際学術誌である  
Journal of Cardiothoracic and Vascular Anesthesia に掲載されています。

### 【研究グループの田本氏】



【田本氏のインタビューは以下のコラムをご参照ください】  
臨床・薬学研究に貢献する医療ビッグデータ # 11

URL : <https://www.mdv.co.jp/ebm/column/medical-big-data/article140>

原著論文はこちら→

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/41453820/>

【論文の二次元コード】



MDVの診療データベースの実患者数は5,756万人（2026年3月末日）となっており、リアルワールドデータ（RWD※）として、実臨床での仮説を証明するためなどに、臨床医やアカデミアの研究に広く活用されています。

※臨床試験などの特定の環境下ではなく、日常生活や実際の医療現場で集められる健康・医療に関するデータの総称

【コラムの二次元コード】



<本件に関するお問い合わせ>  
メディカル・データ・ビジョン 広報室  
担当：君塚、赤羽、汲田  
TEL：03-5283-6911  
MAIL：pr@mdv.co.jp